科目ナンバリング	G-LAS11 80021 LJ55						
授業科目名<英訳>	数学・数理科学の最前線大学院講義II Graduate Lecture on Forefront of Mathematics and Mathematical Science II			担当者所属職名・氏名	理学研究科　教授　　石本　健太		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	自然科学系		使用言語	日本語	
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木5	配当学年	大学院生	対象学生	理系向

（理学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

この授業は、主に理学研究科数学教室および数理解析研究所の教員が講師となり、リレー形式で数学・数理科学の様々なテーマについて紹介するオムニバス講義である。各講師が専門分野の話題について入門的な講義を行い、数学・数理科学の最前線で行われている研究を俯瞰する。自然科学をはじめ、情報科学や社会科学など多くの分野に共通する理論的基盤となっている数学・数理科学の様々なテーマに触れることで、諸分野における数学の可能性を知り、数学・数理科学に関する幅広い視野を身に付けることを目的とする。

[到達目標]

（１）数学・数理科学の最前線で行われている研究の概要を知ることで現代の数学・数理科学の研究を俯瞰できるようになる。
（２）数学・数理科学の様々なテーマに触れることで、諸分野における数学の可能性を知り、数学・数理科学に関する幅広い視野が身に付く。

[授業計画と内容]

主に理学研究科数学教室および数理解析研究所の教員が講師となり、代数・幾何・解析・応用数学などにおけるそれぞれの分野の話題についてリレー形式で計15回（十数名の講師による講義14回＋フィードバック1回）の講義を行う。各回の講師や講義のタイトルについては、後日掲示やKULASIS、LMS等で連絡する。

本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目である。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（出席状況）が６割、レポートの評価が４割。
レポートは自分が興味をもった授業について内容を整理してまとめたり、或いは授業内容と関係することを自分で調べてまとめる。最低２回のレポート提出が求められる。

[教科書]

使用しない

数学・数理科学の最前線大学院講義II(2)へ続く↓↓↓

数学・数理科学の最前線大学院講義II(2)

[参考書等]

（参考書）

特に無し。

（関連ＵＲＬ）

https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/ktgu/innovation(**数学・数理科学イノベーション人材育成強化コースのwebサイト**)

[授業外学修（予習・復習）等]

リレー形式で数学・数理科学の様々なテーマについて授業が行われるため、授業後に授業内容の概要を理解できるように、授業内容を復習し、関連する事柄を調べたりすることを推奨する。

[その他（オフィスアワー等）]

本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ履修することも可能である。

[主要授業科目（学部・学科名）]